


## 令和4年度 研究サマリー

研究会名称	腎泌尿器癌研究会	
代表者所属	東京女子医科大学 泌尿器科	
代表者氏名	高木 敏男	
<p><b>研究方法・結果</b></p> <p>本研究会は、腎泌尿器疾患についての基礎研究・臨床研究を行うことによって、その診断や治療技術の進歩に寄与し、社会に貢献することを目的としている。さらに、国内・国外から多数の医師やメディカルスタッフに対し、教育・研究指導を行い、多くの知見を国内のみならず世界に向けて継続的に発信している。</p> <p>泌尿器癌研究においては、手術治療としてロボット支援手術を積極的に行っており、新たな手術手技を開発し、学会・論文報告を多く行なっている。ロボット支援腎部分切除術における、高難度症例に対する核出術の確立とその良好な成績を報告した。薬物治療については、免疫チェックポイント薬の効果を予測するバイオマーカー検索を臨床検体を用いて行なっており、その結果を多く公表した(別紙)。</p> <p>腎不全関係においては、2015年より多施設共同観察研究としてJACK (Japan Academic Consortium of Kidney Transplantation)を開始し、日本人腎移植患者のリアルワールドデータを集積解析することで、その臨床成績の評価を行ってきた。2018年4月より、このJACKデータベースへのデータ積み上げとして前向き観察研究JACK-IIに発展させている。そのデータを用いて、日本人に適した免疫抑制治療の在り方を解析し、国内外に多く発信できた。</p> <p>これまで蓄積された技術やデータを元に、来年度はさらなる飛躍を遂げたいと考えている。</p>		
<p><b>研究成果(論文、学会発表、雑誌掲載等)</b></p> <p>英語原著論文 39 編 (別紙参照)</p>		